

道が将来の人口推計やど
のような入院治療が行われ
たかを記したシミュレーション(診

療報酬明細書)のデータか
ら算出。24日開いた医療関
係者による道総合保健医

療協議会の地域医療専門委
員会で報告した。
大幅減はこのほか、遠紋

35.8%、北空知30.2%、
西胆振27.1%、留萌27.
0%、北網26.4%など。

道は24日、2025年時点で必要とす
る道内の病院ベッド(病床)数について、
人口減少や在宅医療への転換などで13年
より1万5000〜1万5千床削減し、6
万8500〜7万3千床とする推計を明
らかにした。最も削減幅が小さい場合で
も12.6%減となる。道内21の2次医療
圏別では、北渡島檜山(八雲、長万部、
せたな、今金4町)が45.9%、南檜山
(江差、上ノ国、厚沢部、乙部、奥尻5
町)は45.6%の大幅減となり、地域医
療の縮小を懸念する声も上がりそうだ。

(関連記事2面)

2次医療圏別の病床数の推計

2次医療圏	2013年の 病床数(床)	25年の 必要病床数(床)	増減(%)
北渡島檜山	1005	481~543	▲45.9
南檜山	450	223~245	▲45.6
遠紋	1210	646~777	▲35.8
北空知	747	353~522	▲30.2
西胆振	3872	2292~2823	▲27.1
留萌	768	473~561	▲27.0
北網	3323	2307~2447	▲26.4
宗谷	775	577~581	▲25.0
中空知	2114	1363~1607	▲24.0
上川北部	1021	725~791	▲22.5
上川中部	7223	5479~5614	▲22.3
南渡島	6130	4778~4848	▲20.9
根室	616	477~495	▲19.6
南空知	2390	1734~1923	▲19.5
釧路	3697	2767~3009	▲18.6
日高	758	575~636	▲16.1
後志	3471	2529~2919	▲15.9
十勝	4741	3934~4060	▲14.4
富良野	539	477~486	▲9.9
札幌	36265	33912~35726	▲1.5
東胆振	2441	2408~2458	0.7
全道	83556	68509~73070	▲12.6

※増減は25年の最大値と比較
▲はマイナス

病床道南2圏域45%減

25年推計 人口減 在宅に転換

人口減少が緩やかとされる
東胆振は0.7%増、札幌
(石狩管内)も1.5%減
でほぼ横ばいだった。
政府は、長期入院する「療
養病床」の高齢者らを自宅
や介護施設での治療に切り
替え、膨らみ続ける医療費
を抑える方針で、全国13
4万床を25年に119万床
に削減する推計を6月に公
表した。道内は最低でも12
%減としていたが、医療圏
別の増減が明らかになった
のは初めて。

道の推計によると、政府
が新たな病床の機能として
示す4分野別では、25年時
点の道内病床7万3千床の
うち、救命救急などの「高
度急性期」が7300床、

緊急性が高い「急性期」が
2万1900床、リハビリ
などの「回復期」が2万3
00床、現在の療養病床に
当たる「慢性期」が2万3
500床だった。道は政府
方針を踏まえ、今回の推計
を目標値のたたき台として
来年夏までに地域医療燃焼

を策定する。

病床数の削減方針に病院
に対する強制力はないが、
政府は診療報酬の改定や補
助金の配分などで促す方針
だ。ただ、在宅医療への転
換には、介護の担い手や専
業者などの受け皿整備が課
題とされている。